

令和6年度第2回大曲地域協議会会議録

令和6年8月1日

大曲地域協議会

令和6年度第2回大曲地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	1
■会長あいさつ	2
■協議	
(1) 会議録署名委員の指名	3
(2) 地域課題（自主審議テーマ）の協議について	3
■報告	
(1) 令和6年度地域枠予算の活用状況について	6
(2) 第5期交通計画策定に係る意見書について	7
(3) はなび・アム敷地内におけるサービス向上の取り組みに関するアンケート結果について	8
■その他	
(1) はなび・アムと周辺の取り組み「まちなか賑わいづくり発見事業」について	8
■閉会	10
■署名	11

■日 時：令和6年8月1日（木）午後6時

■会 場：大仙市役所3階大会議室

■出席委員：10名

鎌田 俊、久保田 健一郎、後藤 仁美、根田 朋子、深谷 成男、打川 元喜、
佐藤 毅、生田目 マキ子、細井 陽子、長屋 奈恵子

■欠席委員：4名

佐藤 芳紀、塚田 兼一、戸嶋 真紀子、松塚 孝治

■出席職員：4名

高橋 靖弘 （地域活動応援課長） 菅原 廣也 （地域活動応援課主幹）
進藤 尚人 （地域活動応援課主任） 佐々木 心都 （地域活動応援課主事）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - （1）会議録署名委員の指名
 - （2）地域課題（自主審議テーマ）の協議について
- 4 報 告
 - （1）令和6年度地域予算の活用状況について
 - （2）第5期交通計画策定に係る意見書について
 - （3）はなび・アム敷地内におけるサービス向上の取り組みに関するアンケート結果について
- 5 その他
 - （1）はなび・アムと周辺の取り組み「まちなか賑わいづくり発見事業」について
- 6 閉 会

（午後 6時 開会）

○事務局(菅原主幹)

ただ今から令和6年度第2回大曲地域協議会を始めさせていただきます。

はじめに、本日の次第にはございませんけれど、7月1日付で委員の交代がございましたので、委嘱状の交付をさせていただきます。

この度、大曲商工会議所青年部会長の交代に伴い、荒屋鋪栄明様から大曲地域協議会委員の退任届が提出されました。後任として、青年部より推薦のありました新会長の久保田健一郎様に大曲地域協議会委員を委嘱するものでございます。

久保田様、恐れ入りますが、お名前を読み上げましたら、その場でご起立をお願いいたします。

【高橋課長が委嘱状交付】

○事務局(菅原主幹)

ここで、鎌田会長よりごあいさつをお願いします。

○鎌田俊会長（以下、会長と表記）

みなさんこんばんは。

今、委嘱状が交付されました久保田健一郎さん。今日から同じ委員として仲間が増えたとい私は解釈しております。良い意味でのリスタートと感じています。

私は5年間地域協議会委員をやっていますけれど、途中で委員が交代したのは初めてです。

商工会議所の青年部代表というポジションは、やはりそれなりの重責があると感じております。どうぞよろしく願いいたします。

7月後半は大雨で異常気象に見舞われましたけれども、今日から長く暑い日が続きますので、健康には十分注意されてください。

今日は、私から提案事項があります。この1年間、2班に分かれてグループ討議をしてきて、A班は「花火以外のブランド商品をつくる」というテーマで討議した結果、大曲のソウルフードであるオープンカツにたどり着くわけです。ただ、前回の地域協議会で討議した時に、一つの壁が見つかりました。というのは、久保田さんもお存知の通り、大仙市には大曲商工会議所と大仙市商工会があります。市でまとまって何かやるときに、A班ではネックになる可能性を秘めているという話になりました。久保田さんは今日B班の方に座られていますが、適材適所で、A班の方に移っていただいた方が討議しやすいのかなと考えています。

今日もたまたまB班が少ないですけど、事務局の提案で本日B班には事務局に入っているただき、久保田さんにはA班に移っていただきたいと思います。決定ではありませんので、事務局とご本人さえよろしければ、それがいいのかなと感じております。

事務局に一任しますので、よろしくお願いします。

○事務局(高橋課長)

事務局といたしましては、ただ今の会長のご提案でよいと思います。よろしければ、久保田委員にはA班で討議をお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。

○久保田委員

はい。

○会長

よろしくお願いいたします。

○事務局(菅原主幹)

それでは会議に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。

- ・次第
- ・委員名簿
- ・配席図
- ・資料No.1 本日の協議の進め方
- ・資料No.2-1 地域課題協議シート（A班）
- ・資料No.2-2 地域課題協議シート（B班）
- ・資料No.3 令和6年度地域枠予算活用事業一覧
- ・資料No.4 第5期交通計画策定に係る意見
- ・資料No.5 地域協議会向けアンケート結果
- ・資料No.6 まちなか賑わいづくり発見事業について
- ・追加資料 第5期交通計画策定に係る意見
- ・生田目委員と久保田委員の意見書

以上でございます。お手元に無い場合はお知らせ願います。

このあとの進行については、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、鎌田会長にお願いします。

○会長

それでは、会議をはじめます。

本日は、戸嶋真紀子委員、松塚孝治委員、佐藤芳紀委員、塚田兼一委員の4名が欠席となっております。出席委員が10名でございますので、委員の2分の1以上が出席されており、会議は成立しています。

次に、議題に入ります。

議題の1、会議録署名委員を指名いたします。佐藤毅委員と長屋奈恵子委員にお願いいたします。

○会長

続きまして、議題の2「地域課題（自主審議テーマ）の協議について」を議題といたします。事務局から、説明をお願いします。

○事務局(高橋課長)

【資料に基づき説明】

○会長

ただいま事務局から説明がありましたが、本日は前回に引き続き、A Bに分かれ

てそれぞれのテーマについて話し合いをしていただくことになります。A班に関しては、誰が何をどのようにやるかを話し合って、優先順位をつけていただきたいと思います。B班については、事務局からの提案について審議していただく形になります。

討議時間は、いつも通り30分ぐらいを予定してありますが、状況に応じては5分、10分の延長も考えておりますので、従来の協議シートや模造紙、付箋などを使用して討議を行ってください。最後にグループごとに討議の結果を報告していただきますので、あらかじめどなたか進行役と報告をしていただける方を決めて、それからスタートしていただくようお願いいたします。それでは、始めてください。

【グループ討議】

(A班)	(B班)
鎌田俊	後藤仁美
久保田健一郎	根田朋子
深谷成男	打川元喜
佐藤毅	高橋課長
生田目マキ子	佐々木主事
細井陽子	
長屋奈恵子	

○会長

それではA Bともに大体できあがったようですので、A班の報告をお願いいたします。

○佐藤委員

A班は、オープンカツのブランド化について、誰が何をどのように行うか、連携、協力団体ということに的を絞って話し合いをしました。

最初に、大曲商工会議所と大仙市商工会に組織が分かれていることで、うまく連携が取れるのかという話がありましたけれども、イベントをやるときには組織の壁を外して、イベント毎に枠組みを変えてもよいのではないかと考えました。それでも、ここで話し合いしているのは大曲地域のことなので、資金の面で市から協力をもらおうとすると、大仙市の税金が使われることになりますので、その際は、いろいろな食材を、例えば米や肉やトマト、そういうものを大仙市産で間に合わせたら、大仙市商工会という大きな組織の中でも動けるのではないかという話になりました。

ご存知の通り、中仙地域の杜仲豚やトマト、お米はここら辺では誰でも作ってますので、契約農家を作りながらやると安く食材が手に入ります。組織に関わらず思いついたところで動けばいいのではないかということです。

次に、オープンカツの登録店を増やすというのは、これも大曲地域にこだわらず、大仙市

内で参加したい店舗にはどんどん参加してもらおうということは、簡単にできると思います。

オープンカツ紹介マップの作成も簡単にできると思います。

次に、統一したのぼりの作成は、のぼりをただ並べて立ててもつまらないので、床屋さんのサインポールのようなもっとインパクトのあるものにした方がいいのではないかという案も出ました。

オープンカツを知らない人のためのPR方法として、電車の中に広告をぶら下げる、大曲駅で降りて食べてみようという意欲をかきたてるような広告塔を作る。例えば、駅の東口で大仙市内のお祭りの看板がありますが、あれをビジョン広告にして、市内向けでなく電車の乗客向けにしてしまおうと、ちょっと途方もない話になりますが、そういう案も出ました。

他には、あきたふるさと手作りCM大賞に出してPRしよう、駅やはなび・アムで映像を流す、そういうことが案として出ました。

また、「オープンカツの日」なるものを設定して、市内の学校給食に1回くらい提供する。これはかなり手ごわい話ですが、チャレンジしても良いのかなと思います。

プロモーションビデオの作成は、これは物ができてから作らないと、嬉しい顔が映らないことになるので最後になります。

こんな風に具体的になってくると、そんなに難しいことじゃないと、やる気があれば何でもできるということで、チャレンジしても良いのではないかと思います。もう頭の中で皆さん、そんな店を想像していると思いますけれど、それで良いと思います。これから動いていきましょう。以上です。

○会長

はい、ありがとうございました。

A班に報告いただきましたけれども、何か質問等があればお願いいたします。後からでも、気がついたことがあったら、お話ししていただきたいと思います。

それではB班の発表をお願いします。

○後藤委員

B班の発表をします。

事務局から、「だいせん宣伝部」というインスタグラムのアカウントが既にあるというご提案をいただいたので、それについて話し合いました。これを私達が考えている小さい情報でも載せられるようなアカウントにしていくには、どうしたらいいかという話し合いをしたんですけれども、そこで出た課題の一つが情報の信憑性です。市が投稿する情報になってくるので、誰でも勝手に載せられるとなると、正しくない情報が載る可能性があります。そういった場合に、どのように情報の仕分けをしたらよいのかという課題が見つかりました。アカウント自体の周知方法は、これから先、こんな風に動いていくとなった場合、どのように情報発信していけばよいのかということも、一つ課題に挙がりました。

取り組み体制ですが、こういう情報の信憑性、仕分け方がちょっとはつきり出なかったため、まずは市の20周年のイベントが今年大仙市内でいろいろ行われると思うので、

そのイベントをまず取り上げて投稿していくのはどうかという話が出ました。まず1年やってみて、その後に例えば、市民が開催するイベントを吸い取るアカウントになっていったらいいねという話にまとまりました。以上です。

○会長

ありがとうございます。例えば10月の落語会という感じですね。

○後藤委員

今年は間に合わないですけど、ゆくゆくはこういう個人が開催するイベントが載せられるアカウントになっていけばいいなと思います。

○会長

はい、ありがとうございました。ご質問等あれば、後ほどでも結構です。

以上でグループ討議の報告も終わりましたので、議題2の地域課題の協議についてを終了いたします。

続きまして、報告の1、令和6年度地域枠予算の活用状況について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局(菅原主幹)

【資料に基づき説明】

○会長

はい、ありがとうございました。ただいまの地域枠予算の活用状況について、質問等ありますか。

○後藤委員

全体的な補助金の質問で伺いますけれど、例えばイベントで収益があった場合に、その収益は補助金額から引かれるのですか。

○事務局(菅原主幹)

そうですね。その部分は、基本的には補助金なしで賄える部分になりますので、補助金の対象となる事業費から差し引かせていただくことになります。

例えば事業実施団体で何か販売した売り上げは、最終的に引かれることになります。今回の黒瀬町飲食店祭は、実行委員会から売り上げを能登地震に寄付したいと申し出がございまして、これから実績が出てきますが、寄付の部分は相殺した実績になるかと思います。申し訳ございませんが、単純な売り上げであれば、基本的には差し引かせていただきます。

○会長

ありがとうございます。他に質問等ございましたら、よろしいですかね。

次に、報告の２、第５期交通計画策定に関わる意見書について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局(進藤主任)

【資料に基づき説明】

○会長

ありがとうございました。ただいま事務局から意見書についての説明がありましたけれども、皆さんから何かご意見等あればお願いいたします。

○佐藤委員

駅の東口ですけれども、循環バスと高速バスの停留所がほぼ一緒に、循環バスに乗ろうとしたら、高速バスが停まっていたり乗れなかったということがありまして、停留所を変えてもらえないかという話がありました。停留所の場所をずらすとか、時間を変えるなどしてもらえないかという要望がありましたのでお伝えします。

○後藤委員

大曲駅西口から循環バスに乗ろうとして、日陰で待っていた方がいて、運転手がそれに気づかずに置いていかれた人がいました。その後バスを追いかけましたが気づいてもらえず、結局乗ることができなかったみたいでした。そもそも運転手のマニュアルはあるのでしょうか。

○事務局(進藤主任)

循環バスの運行については、羽後交通に委託しています。マニュアルはあると思いますが、このような事例があったことは羽後交通にお伝えさせていただきます。情報ありがとうございました。

○事務局(進藤主任)

他に質問等、ご意見があればお願いいたします。

私から、久保田委員の意見書のことで、久保田委員にご質問してもよろしいですか。

○久保田委員

はい。

○事務局(進藤主任)

求める地域公共交通のあり方についてということで、シェア、サブスクリプションとありますけれども、具体的にどういったことが聞きたいと思います。

○久保田委員

私はあまり公共交通機関を使ったことがないので詳しくないですけど、乗りたい時や行き

たい時に使えて、初めて公共交通機関は役立つのかなと思っているんです。

乗った時に運賃がかかるというのが今の体系なんですが、お金の心配をしないで、いつでも乗り放題みたいに持っていけないかなというのがサブスクリプションの部分ですね。そうすると、おのずといつでも乗れて、いつでも行けるから、利便性も高まっていくと思います。

ライドシェアもこれからなんだろうけど、タクシー会社とかと協議して、何かできないかなと感じました。

○事務局(進藤主任)

ありがとうございました。

皆様から意見をいただきましたけれども、地域協議会の意見書という形で次の交通計画の中に掲載させていただくとともに、交通計画を作成するにあたって、具体的な政策を検討していく際の参考とさせていただきたいと思います。委員の皆様、大変ありがとうございました。

○会長

ありがとうございました。

次に報告の3、はなび・アム敷地内におけるサービス向上の取り組みに関するアンケート結果について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局(高橋課長)

【資料に基づき説明】

○会長

ありがとうございました。ただいまの説明に関して質問と意見等ございましたら、お願いいたします。無いようであれば、以上で次第4の報告を終了いたします。

本日の議題等については以上です。続きまして、次第5のその他に移ります。まちなか賑わいづくり発見事業について説明をお願いいたします。

○事務局(佐々木主事)

【資料に基づき説明】

○会長

ありがとうございます。ただいまの説明について何かご意見や質問等があれば、ぜひお願いいたします。後藤さん。

○後藤委員

はなび・アムから商店街までを範囲として、活性化案を考えるということですか。

○事務局(佐々木主事)

はなび・アムから商店街というよりも、商店街全体が活性化できるような、市民主体ででき

るイベントなどを考えていただきたいと思います。

○会長

他にご質問等あれば伺います。長屋さんどうですか。

○長屋委員

ただ歩くことが目的ではなくて、おそらくどこでどういう休憩を取るかとか、どこに寄るかというところも、具体的に考えた方が良いような気がします。ただ漠然と歩くとなると、10月の夕方だとすればもう暗いですよ。

○会長

そうですね。そのあたりをどのように捉えるかが大事だと思います。10月の5時半というともう真っ暗ですよ。歩く意味はどこにあるのかという問題もあります。

○事務局（高橋課長）

そうですね。10月の5時半となれば多分真っ暗になると思いますので、例えば4時から1時間程度実施して、その後はなび・アムで1時間のディスカッションを行い、6時終了といった形でも可能かどうか、委員の皆様にお聞きしたいと考えておりました。お仕事がある方もいらっしゃるのでは、ご意見をいただければと思います。

○会長

日中でも大丈夫です。当然暗い中を見るのとは全然違うと思います。これを受けて、例えば長屋さんのお店で何かライトアップするような事業などはできないでしょうか。

○長屋委員

そうですね。目的自体が大きいテーマになるので、そこはもう少し絞った方が良いのではないかと思います。やっぱり大きくなってしまうと、もう大曲地域全体の話になってしまいますので。

○事務局（高橋課長）

彩色千輪プロジェクトでは、はなび・アムを拠点とした花火通り商店街の賑わいということを目的として掲げておりますので、そういった中で花火通り商店街の賑わいを創出するために、何かイベントが実施できないか、既存の建物がある中でそれを活用できないか、空き地があるのでそこを活用できないかなど、お気づきの点があれば、ご提案いただきたいと思いますというのが趣旨であります。

○会長

私の方では、そこまではちょっと考えていないのですが、どうでしょうか。

いろんな意見があるとは思いますが、ちょっと漠然として申し訳ないですけれども、実際に

はなび・アムと駅の間を歩いてほしくて、いろいろと話し合いしてるわけですね。自分たちが歩いてみて、何か分かることが出てくることを期待して歩くのも一つなのかなと思います。みなさん、それしか言えないのではないかと思います。歩くことによって新たな発見があるかもしれないし、こうした方がいいということが後から分かってくるケースもあるのかなという感じです。漠然としていて、これだけ見ると何も生まれないのではと思うぐらいですけども、自分たちが歩いて初めて分かることが出てくるかもしれないと思います。

この通りにお店がある方が何人かいらっしゃいますので、そういう意味では、新たな発見があるのかもしれませんが。我々が普段歩かないので、そこを歩くことによって分かることが出てくる可能性があるということに期待したいです。それぐらいしか今のところ言えないです。

○事務局（高橋課長）

こちらの事業について、先ほど会長からもお話がありました通り、違う発見やご意見、そういったところを期待している事業ですので、これをまず第3回目の地域協議会で開催させていただきたいと考えております。少し明るいうちからということでしたので、4時など少し早めの時間帯で設定させていただいて、参加できない方については、後半のディスカッションの部分からでも参加可能ということで、進めさせていただいてもよろしいでしょうか。

○会長

今はみなさん何も言えないのかなと思います。2ヶ月の間に良い案が出てきたら、それをみなさんにフィードバックしていただければ、もっと納得した形で参加できると思います。他に何か質問はありますか。無いようなので、次に移ってもよろしいですね。

それでは、その他に事務局からありましたらよろしくお願いします。

○事務局（高橋課長）

次回の地域協議会の開催予定ですが、今お話ししましたので、特に事務局からはございません。

来年度の当初予算の要求が11月から始まりますので、予算に間に合わせる形で皆様からのご提案をいただきたいので、10月の開催を予定しております。よろしくお願いします。

○会長

ありがとうございます。

では、皆さんから他に何か特別質問等がなければ、これをもちまして本日の会議を終了させていただきます。長時間にわたってご苦勞様でした。ありがとうございました。

（午後 8時 閉会）

大曲地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員
